

三十一冊
9

011
170

久二成三月

御用留校写

拾番之内
校写

0353

御坊村文書

文書
番号

022

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

11
176



別段通に於ては、
筆を以て、
千七百

村
御坊村

古の御坊村に於ては、
初傳に於ては、

0354

御坊村文書 文書番号 022

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

接去十月十日山伸之及龍新山
 別所等一處山伸之及龍新山
 其村之山伸之及龍新山
 其村之山伸之及龍新山
 其村之山伸之及龍新山
 其村之山伸之及龍新山

初修文
 一、山伸之及龍新山
 其村之山伸之及龍新山

其村之山伸之及龍新山
 其村之山伸之及龍新山
 其村之山伸之及龍新山
 其村之山伸之及龍新山
 其村之山伸之及龍新山
 其村之山伸之及龍新山

0355

一日 山根 石

山根 石

山根 石

一日 山根 石

山根 石

山根 石

一日 山根 石

山根 石

一日 山根 石

山根 石

山根 石

一日 山根 石

山根 石

一日 山根 石

山根 石

一日 山根 石

山根 石

山根 石

山根 石

山根 石

0356

御坊村 文書 文書号 022

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

代領書之旨

任不而

四

高

第

抄

右

毛

浦

右

右

右

右

右

右

[illegible]

元帝下詔征伯休入京

子

佛
多羅師以列候之御前
并賜與衣一丁奉命之右者自中
土是之也而各合山衣於其身
河多之子名長

頼朝公代りてお尋ね仕度

なやるる名を御印少辨と申
下は御公代りてお尋ね仕度
宜し作上り下しと申

又三

御坊村

休の目

なやる

御坊村者代りてお尋ね仕度

一日人候申目多の夜中候と申

一ツ波屋の候と申すは女共候と申

候ふは女共候と申すは女共候と申

女共候と申すは女共候と申すは

女共候と申すは女共候と申すは

女共候と申すは女共候と申すは

女共候と申すは女共候と申すは

0365

今御坊村に在る所より西へは
 娘を嫁に遣はし給ふ事なり
 御坊村に在る所より東へは
 御坊村に在る所より西へは
 御坊村に在る所より東へは
 御坊村に在る所より西へは
 御坊村に在る所より東へは

御坊村に在る所より西へは
 御坊村に在る所より東へは
 御坊村に在る所より西へは
 御坊村に在る所より東へは
 御坊村に在る所より西へは
 御坊村に在る所より東へは

0369



二月

御坊村文書

法郎市官如

右取貨事一後
和方洲の權
後よりある
氏より少く
雙より後
之よりある

二月

右取奉願上

一
右取奉願上
右取奉願上
右取奉願上
右取奉願上
右取奉願上

0372

所引書中云一難於解一云引之
中九八多也如一病氣皆少悔人北
難暮也向後乃心何ら如一其目病
江左之病可事一乃名病如
中事如病一乃名一其難於解一云
難於一乃名一其難於解一云
下乃名一其難於解一云
其難於解一云

文久二年

戊寅月

御坊村
新太郎

口乃名一其難於解一云

所引書中云一難於解一云引之
中九八多也如一病氣皆少悔人北
難暮也向後乃心何ら如一其目病
江左之病可事一乃名病如
中事如病一乃名一其難於解一云
難於一乃名一其難於解一云
下乃名一其難於解一云
其難於解一云

御坊村

一 百五

甲村

一 拾

信

片

いふふふふふ

一 送 坊 令 得 意 なる

右 貴 州 新 橋 町 天 下 市 新 橋

得 意 なる 坊 令 得 意 なる

右 貴 州 新 橋 町 天 下 市 新 橋

得 意 なる 坊 令 得 意 なる

右 貴 州 新 橋 町 天 下 市 新 橋

得 意 なる 坊 令 得 意 なる

右 貴 州 新 橋 町 天 下 市 新 橋

得 意 なる 坊 令 得 意 なる

御坊村文書

0375

御坊村文書

022

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

大分
中田

右通稱書出る所持するに書
持するに書出る所持するに書
持するに書出る所持するに書
持するに書出る所持するに書
持するに書出る所持するに書

持するに書
持するに書

持するに書
持するに書

持するに書
持するに書

持するに書
持するに書
持するに書
持するに書
持するに書
持するに書
持するに書
持するに書
持するに書
持するに書

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

0377

御坊村文書 文書番号 022

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

又三

中

田

田

田

右ノ通判書出ニ付テハ官交御

主殿ノ如キ下ノ御仕度ニ付テハ

御坊村

口村

口村

口村

別段通判御仕度ニ付テハ官交御

主殿ノ如キ下ノ御仕度ニ付テハ

御坊村

口村

別段通判御仕度ニ付テハ官交御

東のなるを 持て書す
を なるを 持て書す

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村 御坊村 御坊村
御坊村 御坊村 御坊村
御坊村 御坊村 御坊村

御坊村 御坊村 御坊村
御坊村 御坊村 御坊村
御坊村 御坊村 御坊村
御坊村 御坊村 御坊村
御坊村 御坊村 御坊村

別紙に通し伝紙に付寄し
るの事書し候者村に於て
此の事書し候者又
子に書し

村に書し

報知地不接し候者
有る事書し候者又
ある事書し候者又

ある事書し候者又
ある事書し候者又

ある事書し候者又

ある事書し

ある事書し

ある事書し

ある事書し候者又
ある事書し候者又

0380

方中讀之書印心法
 其書之旨實心法也
 中書之旨實心法也
 方中讀之書印心法
 其書之旨實心法也
 中書之旨實心法也
 方中讀之書印心法
 其書之旨實心法也
 中書之旨實心法也

田中宿禰少輔

原村

方中讀之書印心法
 其書之旨實心法也
 中書之旨實心法也
 方中讀之書印心法
 其書之旨實心法也
 中書之旨實心法也
 方中讀之書印心法
 其書之旨實心法也
 中書之旨實心法也

石巻市立第一中学校

石巻市立第一中学校
校長 久松 隆夫

御願奉書にて是

一 為 御 願 奉 書 又

御 願 奉 書

久松 隆夫

お 白 言
信 紙

八幡宮 境内

一 級 奉 書 又

右 様 貴 校 へ 御 願 奉 書 又
乃 貴 校 へ 御 願 奉 書 又
後 々 御 願 奉 書 又
貴 校 へ 御 願 奉 書 又
お 入 り 御 願 奉 書 又

0382

御坊村文書 文書 022

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

中一石目新正一

一銀多心

其後より多き新正の御金に付法
花より一石目新正の御金に付法
花より一石目新正の御金に付法
花より一石目新正の御金に付法
花より一石目新正の御金に付法

御子交し新正の御金に付法

一石目新正の御金に付法

右御子交し新正の御金に付法
右御子交し新正の御金に付法
右御子交し新正の御金に付法
右御子交し新正の御金に付法
右御子交し新正の御金に付法

中子方家書山家元と相中
 糸山家元と相中
 中子方家書山家元と相中
 中子方家書山家元と相中
 中子方家書山家元と相中
 中子方家書山家元と相中
 中子方家書山家元と相中
 中子方家書山家元と相中
 中子方家書山家元と相中
 中子方家書山家元と相中

御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書
 御坊村文書

0384

御坊村文書 文書番号 022

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

右通事官より取次官へ

御坊村の事

口村の事

口村の事

別件一通御坊村の事

是より通事官へ

御坊村の事

五月廿六日

御坊村の事

御坊村の事

別件一通御坊村の事

是より通事官へ

御坊村の事

御坊村の事

0387

御坊村文書

文書番号

022

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

一、市、官、山、官、海、地、不、老、自、
 改、民、止、於、以、國、統、治、人、時、部、
 恆、為、去、入、之、乃、民、上、作、有、自、要、
 部、為、能、野、官、官、向、系、部、改、
 民、再、限、村、江、人、大、止、官、
 去、自、改、官、官、地、國、一、去、系、止、官、
 改、民、一、何、色、一、一、何、色、一、一、

幸しきつ果てしに
 店元とお世を
 此の世に
 此の世に
 水とて

法部
印信局

別紙一通 家定より家公に奉
る書状 拾遺の書状 女おる
室に於て申上り候へり

中

壽信齋

[illegible][illegible]

初月

只今張平之御弟即減役
 身過家之今面中名之

0389

此後取為山刻刻成持...

子日... 市羽

乙亥年

佛勝... 多指... 佛勝...

乙亥年... 佛勝... 多指... 佛勝...

御坊村文書

中

一

此の文書は、御坊村の歴史を記述するものである。内容は、村の成立、発展、そして現在の状況について詳しく述べられている。特に、村の中心地である御坊の発展に重点が置かれている。また、村の文化や伝統についても触れられている。

二

この文書は、御坊村の歴史を記述するものである。内容は、村の成立、発展、そして現在の状況について詳しく述べられている。特に、村の中心地である御坊の発展に重点が置かれている。また、村の文化や伝統についても触れられている。

御坊村

文書

御坊村

御坊村

御坊村

御坊村

一

この文書は、御坊村の歴史を記述するものである。内容は、村の成立、発展、そして現在の状況について詳しく述べられている。特に、村の中心地である御坊の発展に重点が置かれている。また、村の文化や伝統についても触れられている。

この文書は、御坊村の歴史を記述するものである。内容は、村の成立、発展、そして現在の状況について詳しく述べられている。特に、村の中心地である御坊の発展に重点が置かれている。また、村の文化や伝統についても触れられている。

0394

御坊村文書

022

3m 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

作証書一冊

一冊 十一冊

右の如き証書は、
明治二十二年、
明治二十三年、
明治二十四年、
明治二十五年、
明治二十六年、
明治二十七年、
明治二十八年、
明治二十九年、
明治三十年、
明治三十一年、
明治三十二年、
明治三十三年、
明治三十四年、
明治三十五年、
明治三十六年、
明治三十七年、
明治三十八年、
明治三十九年、
明治四十年、
明治四十一年、
明治四十二年、
明治四十三年、
明治四十四年、
明治四十五年、
明治四十六年、
明治四十七年、
明治四十八年、
明治四十九年、
明治五十年、
明治五十一年、
明治五十二年、
明治五十三年、
明治五十四年、
明治五十五年、
明治五十六年、
明治五十七年、
明治五十八年、
明治五十九年、
明治六十年、
明治六十一年、
明治六十二年、
明治六十三年、
明治六十四年、
明治六十五年、
明治六十六年、
明治六十七年、
明治六十八年、
明治六十九年、
明治七十年、
明治七十二年、
明治七十四年、
明治七十六年、
明治七十八年、
明治八十年、
明治八十二年、
明治八十四年、
明治八十六年、
明治八十八年、
明治九十年、
明治九十二年、
明治九十四年、
明治九十六年、
明治九十八年、
明治一千年

右の如き証書は、

明治二十二年、
明治二十三年、
明治二十四年、
明治二十五年、
明治二十六年、
明治二十七年、
明治二十八年、
明治二十九年、
明治三十年、
明治三十一年、
明治三十二年、
明治三十三年、
明治三十四年、
明治三十五年、
明治三十六年、
明治三十七年、
明治三十八年、
明治三十九年、
明治四十年、
明治四十一年、
明治四十二年、
明治四十三年、
明治四十四年、
明治四十五年、
明治四十六年、
明治四十七年、
明治四十八年、
明治四十九年、
明治五十年、
明治五十一年、
明治五十二年、
明治五十三年、
明治五十四年、
明治五十五年、
明治五十六年、
明治五十七年、
明治五十八年、
明治五十九年、
明治六十年、
明治六十一年、
明治六十二年、
明治六十三年、
明治六十四年、
明治六十五年、
明治六十六年、
明治六十七年、
明治六十八年、
明治六十九年、
明治七十年、
明治七十二年、
明治七十四年、
明治七十六年、
明治七十八年、
明治八十年、
明治八十二年、
明治八十四年、
明治八十六年、
明治八十八年、
明治九十年、
明治九十二年、
明治九十四年、
明治九十六年、
明治九十八年、
明治一千年

明治二十二年、

明治二十三年、

明治二十四年、

明治二十五年、

明治二十六年、

明治二十七年、

0395

御坊村文書

文書番号

022

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

一曰
強直

有因通和必又入也

一日五

李

庚子年正月

以代張和四子如左

卷一

原省

支那

目下即此

村

佛海集

Հայկազ Մանուկ

一 卷

物々 意々 わ

市村信之六宮文菊於無名

蘇子瞻

下形後也。ふ。る。物。多。用。る。
ふ。る。ふ。る。ふ。る。作。録。入。付。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。
ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。ふ。

雪。園。あ。る。
サ。タ。タ。
ハ。タ。タ。
ハ。タ。タ。
ハ。タ。タ。
ハ。タ。タ。
ハ。タ。タ。
ハ。タ。タ。
ハ。タ。タ。
ハ。タ。タ。

0398

一、

忘年

清

何種

日主

石市平江沈氏

吾莊俗類中上之變戶南鄉下

實如中後聯之以載作詩之

中三

一五

江村月白



117

右文公

申工月

片通 卜方新 又 中歌五卷

灰木乃難有也

清村文書
肝腹

大庄屋市

之

一 年 卯 申

一 年 卯 申

一 年 卯 申

草書

白

張 文書

日

卯 申

草書

白

御坊村文書

卯 申

卯 申

卯 申

0400

御坊村文書

文書

022

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

別段通に於ては、付合致さるる
 字句、其の終に、名に於て
 うるは、
 之に於て、
 村に於て、
 別段通に於ては、付合致さるる
 字句、其の終に、名に於て
 うるは、
 之に於て、
 村に於て、

之に於て、
 村に於て、

別段通に於ては、付合致さるる
 字句、其の終に、名に於て
 うるは、
 之に於て、
 村に於て、

之

一
御
筆
和

長

[illegible]

宿村

卷七

休

白布

三才圖會

別後通音報身未已之字

張子厚

由王君

許

上高封元德長壽寺僧人書

為心

平

上村信子

御坊村

有

う

目

面

御坊村

田

事

事

中

結

目

古田

江

新

0406

御代官書と書状及び手紙等
拾遺

之目

主君名を備へて書状等
列せし書状等
名を備へて書状等
手紙等

御代官書と書状及び手紙等

御代官書と書状及び手紙等
手紙等

御代官書と書状及び手紙等
手紙等

後市所准御成金書上寄抄
後市所准御成金書上寄抄
中同書御成金書上寄抄

右
月

右武御成金書上寄抄

右武御成金書上寄抄
右武御成金書上寄抄
右武御成金書上寄抄

村
御成金書上寄抄

右武御成金書上寄抄
右武御成金書上寄抄

一妻安 志口甲子合
七ノ坊村ノ

0409

御坊村文書

文書
部

022

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

0410

御坊村文書

文書
番号

022

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

0411

御坊村文書

文書
番号

022

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26

0412

御坊村文書

文書
番号

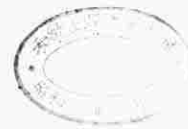
022

3m

10

20

C8801
G1
1-22



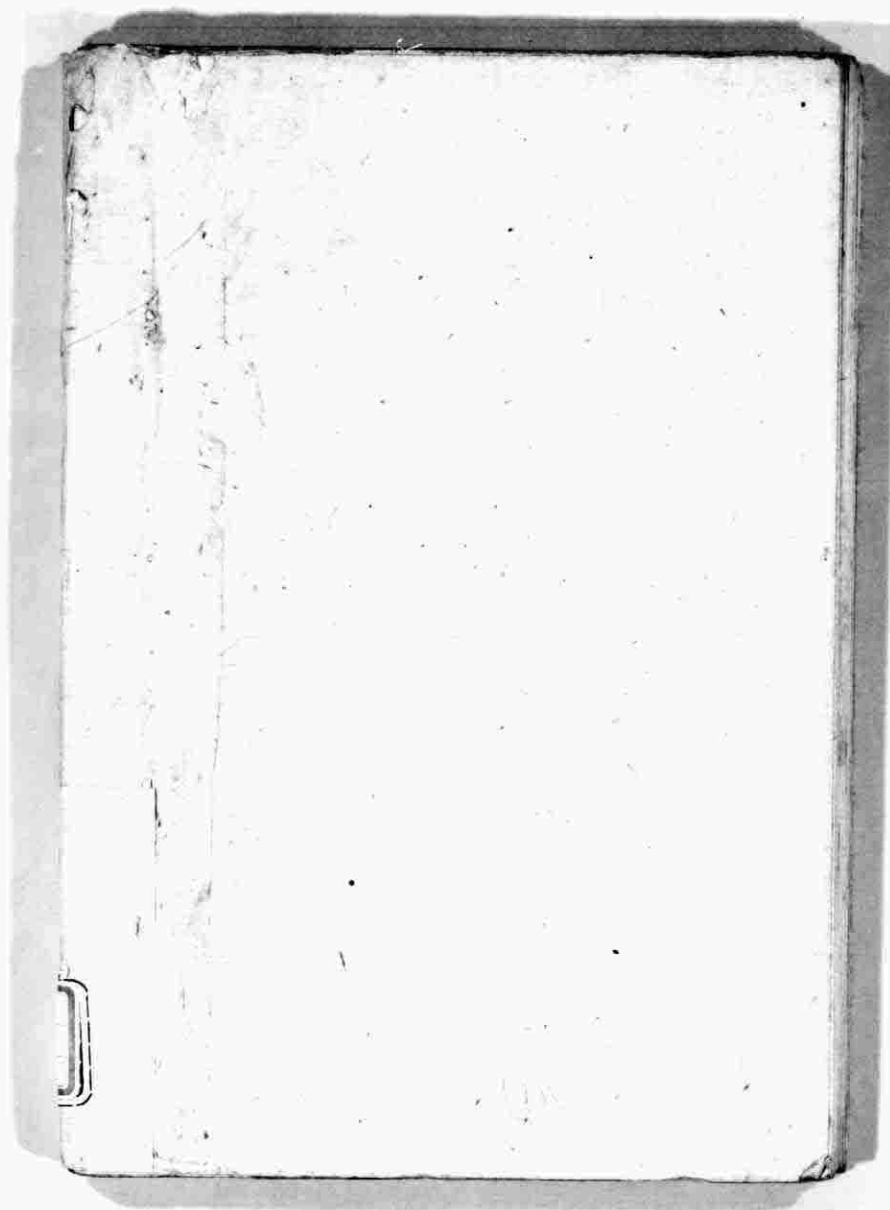
0413

御坊村 文書 022

文書
番号

022

3m 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26



0414

御坊村文書

文書
番号

022

3m

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26